

平成29年3月10日

平成28年4月1日発行「火薬学」[第2版]第3刷以前の書籍に誤った記載がございました。
お客様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。
恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用頂けますようお願い致します。

「火薬学」 正誤表

注：平成29年4月1日に増刷発行する[第2版]第4刷は訂正済みです。

番号	頁	修正箇所	誤	正
1	P67	1.3 製造方法 本文15行目	仕込んでねっ(捏)か(和)す__る。ね__っ(捏)か(和)機は、	仕込んでねっ(捏)か(和)する。ねっ(捏)か(和)機は、
2	P203	第4節 坑内における火薬類の安全度試験 本文1行目	<u>第1章第7節</u> で説明した坑内における火薬類の安全度試験には、・・・・	坑内における火薬類の安全度試験には、・・・・
3	P266	第6.32図	第6.32図 光電式安全導通試験機	第6.32図 光電池式安全導通試験機
4	P297	付属資料4 火薬類歴史年表 日本史欄	安田彦左衛門、黒色 <u>状粒</u> 火薬を製造	安田彦左衛門、黒色粒火薬を製造
5	P300	付属資料4 火薬類歴史年表 世界史欄	・・・・、 <u>スラリー</u> 爆薬を発明	・・・・、スラリー爆薬を発明

平成28年4月1日

平成26年9月5日発行「火薬学」[第2版] 第2刷以前の書籍に数式番号重複等の誤った記載がございました。
お客様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。
恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用頂けますようお願い致します。

「火薬学」 正誤表

注：平成28年4月1日に増刷発行する[第2版] 第3刷は訂正済みです。

番号	頁	修正箇所	誤	正
1	P73	第3.14表 特徴等 4行目	用して耐熱導爆線の <u>心莖</u> 等を使用される。	用して耐熱導爆線の <u>芯莖</u> 等を使用される。
2	P227	下から8～9行目	参照) を <u>上記</u> と同じ目的でせん(穿)孔し・・・	参照) を <u>せん</u> (穿)孔し・・・
3	P214	下から5行目	・・・+CW ⁴ ・・・ (6-2)	・・・+CW ⁴ ・・・ (6-3)
		下から4行目	・・・は定数である。(6-2)式において	・・・は定数である。(6-3)式において
		下から1行目	・・・は(6-2)式を・・・	・・・は(6-3)式を・・・
	P215	上から2行目	・・・+CW・・・ (6-3)	・・・+CW・・・ (6-4)
		上から3行目	(6-3)式の係数・・・	(6-4)式の係数・・・
	P225	下から1行目	・・・W・H・・・ (6-3)	・・・W・H・・・ (6-5)
	P226	上から6行目	(6-3)式で・・・	(6-5)式で・・・
	P231	下から2行目	L=CD ² ・・・ (6-4)	L=CD ² ・・・ (6-6)
	P268	下から14行目	・・・+R ₃ ・・・ (6-5)	・・・+R ₃ ・・・ (6-7)
		下から13行目	・・・+R ₃ ・・・ (6-5')	・・・+R ₃ ・・・ (6-7')
		下から1行目	答 (6-5)式より	答 (6-7)式より
	P269	下から12行目	・・・+R ₃ ・・・ (6-6)	・・・+R ₃ ・・・ (6-8)
		下から11行目	・・・+R ₃ ・・・ (6-6')	・・・+R ₃ ・・・ (6-8')
		下から10行目	・・・は(6-5)式および(6-5')式の	・・・は(6-7)式および(6-7')式の
		下から4行目	答 (6-6)式より	答 (6-8)式より
	P270	下から9行目	・・・+R ₃ ・・・ (6-7)	・・・+R ₃ ・・・ (6-9)
		下から8行目	・・・+R ₃ ・・・ (6-7')	・・・+R ₃ ・・・ (6-9')
		下から5行目	・・・は(6-5)式および(6-5')式の	・・・は(6-7)式および(6-7')式の
	P271	下から14行目	答 (6-7)式より	答 (6-9)式より

「火薬学〈初版〉」正誤表

平成 24 年 5 月 29 日

□ 2 1 4 ペー 4.2.4 装填係数(I) 一行目

デカップリング指数

誤；(薬径／装薬孔径) ⇒ 正；(装薬孔径／薬径)

□ 2 3 5 ペー 第 6.21 図 線状成形爆薬による切断例 (d)

誤 銅版 ⇒ 正 鋼板

漢字の統一に関して

下記①②はともに新常用漢字として使用されるが本書に於いて統一漢字と使用されていないため次回一刷にて右側の漢字で統一する。

① 焰 焰

② 心 芯

下記③の振り仮名を付属資料 3 にて「ば」としているが本書で用いられる語句の読みは「ぱ」でありこれも一刷にて「ぱ」に改める。

③ 播